

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
広島市	伏郷・大畑地区(伏郷・大畑)	令和3年12月27日	

1 対象地区の現状

①地区内の農地面積	29.09 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の農地面積の合計	21.99 ha
③地区内における70才以上の農業者の農地面積の合計	5.62 ha
i うち後継者未定の農業者の農地面積の合計	1.11 ha
ii うち後継者について不明の農業者の農地面積の合計	0.00 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある農地面積の合計	2.73 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

伏郷ではその農地の多くが圃場整備済み農地である一方で、大畑では未整備農地が多く、狭小な農地が大半である。地区内に酪農経営体が2戸(認定農業者で中心経営体)、野菜経営体が1戸(認定新規就農者で中心経営体)ある。地域内の農地は主に水稻が作付けされているが、圃場整備地などの大きい農地は、牧草や野菜の施設栽培にも利用されている。大きな農地は牧草等に利用し集積しやすいが、一方で狭小な農地についても適切な利用方法を検討し、有効活用していく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地域の中心経営体である久保峰夫氏、大上翔氏は酪農経営体であり、飼料の自家採草分を増加させることを経営改善計画でも目標としているため、牧草作付に向けた土地について、積極的に集積を行う。 広島市農林水産振興センターの「ひろしま活力農業経営者育成事業」研修を令和3年12月に修了し、当地区に就農した吉山知佐氏についても地域の中心経営体として位置付け、野菜の作付に利用することを念頭に農地を集約していく。
今後、水稻や牧草の効率的利用を図りつつ、「ひろしま活力農業経営者育成事業」研修修了生や農業参入希望の企業など、中心経営体となり得る就農希望者へ農地を斡旋していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	備考
認定	久保 峰夫	酪農・牧草	3.05	酪農・牧草	3.05	晝ヶ原、中郷、西野地、岡野原、東郷、西郷	
認定	大上 翔	酪農・牧草	2.31	酪農・牧草	5.04	東郷、中郷、沖野原、岡野原、晝ヶ原、下大畑	将来的には規模拡大予定
認就計	吉山 知佐	野菜	0.89	野菜	0.89	西郷	将来的には規模拡大予定
	3 経営体		6.25 ha		8.98 ha		

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

久保氏の農業経営改善計画の目標達成のために関係機関で環境整備を含めて支援していく。
大上氏の農業経営改善計画の目標達成のために関係機関で環境整備を含めて支援していく。
吉山氏の青年等就農計画の目標達成のために関係機関で環境整備を含めて支援していく。
今後、中心経営体となり得る就農希望者へ農地を集約するため、地域で話し合い、受入れを促進・支援していく。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
	貸付け	作業委託	売渡
岡野原、中大畑、東郷	4,252		
計	4,252		